



# グレッツとききたり、大雨が降ったり

グ  
ラツとききました。

大阪が少し明るくなった。ビルの空き室率が減っている。オフィスの使い方が変わり、新しいビルで快適に仕事をという会社が増えた。海外の観光客も増えてホテルも増えているなどが、その理由だ、という話をこのコラムで触れてすぐ、グレッツとききました。

六月一八日の大阪北部地震です。朝の七時五八分やったから、散歩を終えて「朝ドラ」でも見ながら、ご飯食べようか、というところでした。

かなりきつく強かったですなあ。地震は。モノがあちこち落ちたりして。

まあ、ウチはなんとか大丈夫やったけど、ブロック塀倒れて、小学生が亡くなったたりして気の毒なことしました。

こんなとき、いつも総点検！というかけ声がかかりますけど、そもそも違法なんやから放置したらあかんわなあ。

(株)アオキが扱っている航空機材と、ブロック塀比べるのは極端かもしれませんが、人の命がかかっているのは、どっちも同じやし、ブロック塀だけやなく、他にも安全性を調べないといけないところ、たくさんあるんところがいますかなあ。

新しいモノつくるときは、みな興味を持つけど、時間経った

モノのメンテナンスには、関心がどうしても薄くなりがちです。気いつけんね。

**経済への影響は一八〇〇億円にも及ぶと試算されています**

さて、こんなときは、どうしてもライフラインに目が行きます。

さいわい僕のところは、自宅も工場も無事でした。

そやけど、ガスは約一二万二〇〇〇戸ぐらいが、安全のため止まって、供給の再開には一週間かかりました。

電気はその日のうちに復旧してますが、水道は、やはり古い水道管の破裂が目立ったそうです。

そんなこんなで、経済への影響は一八〇〇億円にも及ぶ、という試算がなされているようです。

そしてそのうち、約七七〇億円程度が訪日外国人による消費の減少による影響、ということになりそうです。

以前、大阪は二年連続で、外国人観光客が世界一伸びたところ、と書きました。

一方、観光客は増えたり減ったりするから、水もんや、とも書きました。



◎(株)アオキ取締役会長  
**青木 豊彦** (あおき・とよひこ)

1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。



残念やけど、こんなときに証明されてしまいますねえ。  
よう会う東京のおっちゃんは、一昨年の四月に起こった熊本地震の後、五月の連休に、大分県の湯布院温泉へ、家族で旅行に行ったそうです。

そのころは、あちこちの屋根に、まだブルーシートが架かるといった具合で、震災の跡が生々しく残っていたといえます。

当然、観光客も少なかったようですが、何より、歩いている人が、みな日本人で外国語がほとんど聞こえなかったそうです。大分県を訪れる訪日外国人の五割以上は韓国人、という統計があります。

おっちゃんに言わせると、大分空港には早くからハンゲル(韓国語)の案内があつたらしいです。湯布院に限らず、別府温泉や久住高原といった観光地には、韓国人観光客が溢れていたと聞きます。

**どうぞお氣をつけて  
救援、復旧活動をお願いします**

そういった訪日外国人が少なかったので、レストランなどは、待たずに食事できたとも言っていました。

「高齢者から幼児まで連れて行きましたから、移動がたいへんでした。そやけどソフトクリームからビール、大分名産の麦焼酎まで、幅広く消費してきましたんで、地域に貢献したと思います」とおっちゃん。

これは建前で、ふだん飲み過ぎんように言われてるお酒を、いい気になって飲んでたとのこと。

(撮影：氏野光子)



●普段は穏やかな京都の鴨川河畔だが今回の豪雨では濁流が流れ込んだ

最近、特に多いよう  
ですなあ。地震が。温  
泉が多いのはええです  
けど、火山のおかげで  
地震が多いのはかない  
ません。

そして地震の起こ  
るたびに、被害が起こ  
り、終わっても、観光  
客が寄らなくなつてし  
まう。

東大阪に「大阪モノ  
づくり観光推進協会」  
というのがあります。

申し込むと工場や施設を見学できます。ウチの工場の近くには、安うてうまいお好み焼き屋もあります。モノづくりの現場を見てお好み焼き屋で乾杯! どないですか?

と書き終わったら、今度は、七月上旬に西日本に豪雨が突然、降りました。

この被害は、大阪北部地震どころではありませんなあ。  
経済的損失はさておいて、亡くなった方々には心よりご冥福を申し上げます。

自衛隊、警官、消防のみなさん。そして、早速、入ってると  
いうボランティアの方たちも、どうぞお氣をつけて救助や救援、  
復旧活動をお願いします。